

令和5年度 第2回ふるさと向日市創生計画委員会 議事要旨

日 時：令和5年11月8日（水）午前10時から午前11時まで

場 所：市役所本館3階 第7会議室

出席者：（委員）

高橋副委員長、稲本委員、中島委員、原田委員、船倉委員、山舗委員、
松井委員、小林委員、大田委員 ※欠席 中村委員長

（事務局）

野田ふるさと創生推進部長、水上総務部長、林環境産業部長、
山田市民サービス部長、福岡都市整備部長、清水教育部長、
松石ふるさと創生推進部副部長兼企画広報課長、小島係長、山口主任、福嶋主査
（傍聴）

1人

内 容： 以下のとおり

1 開会

2 議題

（1）第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度進捗状況等について

①事務局から資料説明

第2次ふるさと向日市創生計画令和4年度進捗状況等について、完了・達成項目の内容を説明。

②意見交換

（委員）

・商工業の活性化において、市内小規模事業者の経営（事業）計画書作成支援の件数が令和3年から令和4年までに205件から106件になり、件数が半減している。コロナの影響によるものか。

（事務局）

・商工会にかかる経営支援による相談について、令和3年度はコロナの補助金についての計画相談がとても多くあった。令和4年度はそれが落ち着いてきたため件数が減った。

（委員）

・地域の見守りネットワークについて、評価をSとしているが、評価の基準がわからないため、教えてほしい。

（事務局）

・項目ごとにヒアリングを行い、目標数値を前倒しでクリアしたものに関しては完了やS評価をつけている。この項目は、令和6年度までに15事業者と協定を締結するという数値目標を掲げていた中、前倒しで令和4年度に15事業者を達成し、今後も事業者数を増やしていく予定としているので、完了ではなくSという評価としている。

（委員）

・第2次ふるさと向日市創生計画令和5年度改訂版の22ページ、令和5年度改訂の「地域の見守りネットワーク事業」の協定事業者数、【R6：17事業者】という表記はどのように見たらいいのか。

（事務局）

・令和4年度改訂時は、令和6年度の目標が15事業者だが、令和4年度中に達成したため、令和5年度改訂で、目標数値を上方修正したという状況である。

(委員)

・事業者数の目標数値はこれからも年々増えていくということか。

(事務局)

・向日市内の事業者が限りなくあるわけではないため、事業者数がどのくらいあることが適当なのかを今後考えていきたい。現在、協力事業者はどんどん増えており、まだ数を増やしていける状況にあるが、いずれは横ばいになると思うので、そのときには事業者数ではなく違う指標を定めて、その中でどのように行動してもらおうかなど、新たな目標を見出していく必要があると考えている。

(委員)

・令和4年度の進捗状況は令和5年度の改訂に活かすものであり、令和5年度改訂の議論を6月に行い、令和4年度進捗状況の報告を11月に行うというのは、スケジュールにもう少し工夫があってもよいのではないかと思う。

(委員)

・計画には観光入込客数や商業の活性化、竹の径など色々あるが、評価を良くするためには、観光にしても商工にしても会員増強が大切である。会員増強が基になり、竹の径のボランティアも集められるようになる。魅力を感じていただくことが大事であるため、それをわかっていたらけるような政策や考えをもって、令和5年度以降の予定に挑んでいただきたい。これは意見ではなく要望である。

(事務局)

・10月に組織改正を行い、観光部門が環境産業部に移り、農政や商工と合わせて一体としてやっていくことになった。力強いお言葉をいただいたので、一緒に市全体で盛り上げていきたいと思っている。

(委員)

・商工業活性化でS評価の創業支援について、毎年度コンスタントに創業支援をされているが、どういった業種の方が多かったのか。また実際に創業されても短期間で廃業されるケースもあるかと思うが、この23件の中に廃業された方がいたのか教えていただきたい。

(事務局)

・創業支援事業については大変好評をいただいております、商工会でもお世話になり、相談事業と補助金との両輪で実施している。業種は、フランス料理、ハンドメイドの小売業、パン屋、絵本児童書の販売など様々である。事業の展開がうまくいかず廃業されたところも2、3件伺っているが、そうならないような支援を引き続き行っていきたい。

(委員)

・旧上田家住宅の活用がS評価となっており、来場者がとても多かったとのことだが、多くなった要因はなにか。具体的なものがあれば教えていただきたい。

(事務局)

・旧上田家住宅の事業については、令和4年度に向日市市制施行50周年記念事業としてアートギャラリー展、向日市市制施行50周年記念・向日市教育150年記念として絵画コンクールを開催したため、来場者が多くなった。

(委員)

・今後も色々とユニークなことをして、どんどん活性化していただきたい。

(委員)

・旧上田家住宅の来場者が増えた件で、インスタグラムなどSNSを活用されたのか。
・向日市にはどのくらいの空家があるのか。それを店舗がなく創業を希望する人たちが使えるようにできればいいと思うので、今の状況を教えてほしい。

(事務局)

・旧上田家住宅のSNSの活用については、現在、ホームページで皆さまに情報提供している。今回ご意見もいただいたので、SNSでの情報発信についても考えていきたい。

・空家の状況について、定期的に件数調査をしており、300件前後で推移している。再調査をすると、以前は空家だったところが解体されたり、もうお住まいになられていたりする傾向が非常に多い。本市は利便性が高く、住宅地においてもポテンシャルが高い土地のため、流通が活発であると考えている。深刻な空家は法律に則って対応しているが、現在空家である物件も数年すると、またどなたかが活用するという状況を繰り返している。

(副委員長)

・例えば、空家を店舗に転用するというような取り組みは今のところされていないということか。

(事務局)

・現在はそのような取り組みは行っていないが、住宅を本当に必要とされている方と不動産等の情報をマッチングするという協議会があるので、その協議会の中で店舗への転用も意見を言っていきたい。

(委員)

・地域コミュニティの活性化において、現在町内会に加入していない家が非常に多いと実感している。町内会運営の把握などはどのように行われているのか教えてほしい。

(事務局)

・連合自治会の区長や会長の方々と定期的に意見交換をしている。その中で、加入率がどんどん減っているという話を伺っており、自治会活動のメリットを感じないという部分で離れていく方が多くおられる中、今後どんな運用をしていくのか、どのようにすれば活性化に繋がっていくのかなど、常に意見交換をしているが、なかなか打開するようないいアイデアは見つかっていない状況である。災害が起こったときの助け合いなど、自治会は必須になってくると思うので、今後一緒に悩みを共有し、他市の取り組みなども紹介しながら、活性化を図ってまいりたい。

(副委員長)

・私の近所でも独居老人の方が具合を悪くされ、回覧板を持って行った方がそれに気づかれて通報されたという事例もあるので、自治会の活動は非常に大事と感じている。引き続き検討をお願いしたい。

(委員)

・自治会の加入者が少ないと災害の時に誰を助けたら良いのかも分からないし、回覧板も回ってこないため情報を共有することもできない。これは非常に危険なことであり、特に高齢者の多い地域では災害が起こると対応ができない。自分たちを守るためにも自治会に入らなければいけないという必然性を市民の方に感じていただかないと加入者は増えないと思う。

・昔に比べると不登校の子どもたちが増えているようである。いじめなどもあると聞くが、不登校の原因を解消していかなければいけないと思う。

(事務局)

・不登校についてはここ数年、個々の状況や様々な要因により、小中学校ともに学校に行けない子どもたちが増えている状況である。教育委員会では、電話によるスクールホットラインで保護者の方や子どもたちの悩みを聞いたり、学校に行けない子どもたちのために、天文館にひまわり広場を設置し、個々の状況に応じた学習や体験ができるようにしている。また、学校においても、教室以外でなら登校できるといった児童生徒もいるので、一部の学校ではあるが別室を設けるなどの支援を図っている。個々の状況や要因も様々だが、不登校の未然防止に努めてまいりたい。

3 その他連絡事項

(事務局)

・本日のご意見を踏まえ市政のより一層の充実に取り組んでまいりたい。今年度の委員会は今回で最後となる。来年度について、現行計画期間の最終年度に当たる。次期計画の策定に向けて本委員会を開催する予定であり、先ほどご指摘もあったように、計画の見直しと改訂のサイクルも併せて検討していく。現時点では未定であるが、年3回から4回の開催を予定している。

4 閉会

令和5年度 第2回 ふるさと向日市創生計画委員会

日時：令和5年11月8日（水）午前10時～
場所：向日市役所本館3階 第7会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

- ・第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度進捗状況等について

3 その他

4 閉 会

<配布資料>

資料1 第2次ふるさと向日市創生計画の進捗状況等について

資料2 第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度進捗状況等調書

ふるさと向日市創生計画委員会 委員

| | 役職、団体等 | 氏名 |
|------|----------------------------------|-------|
| 委員長 | 神戸国際大学経済学部 教授 | 中村 智彦 |
| 副委員長 | 向日市商工会 会長 | 高橋 信吾 |
| 委員 | 向日市観光協会 会長 | 稲本 収一 |
| | 京都府山城広域振興局 副局長 | 中島 貴史 |
| | 京都銀行 向日町支店長 | 原田 顕範 |
| | 連合京都乙訓地域協議会 三菱電機労働組合京都支部執行委員長 | 船倉 哲生 |
| | 京都リビング新聞社 編集長 | 山舗 恵子 |
| | 公募市民 | 松井 恒夫 |
| | 公募市民 | 小林 美香 |
| | 公募市民 | 大田 有紀 |

令和5年5月現在

第2次ふるさと向日市創生計画の進捗状況等について

第2次ふるさと向日市創生計画の令和4年度進捗状況等について報告します。

取組及び目標の進捗状況

| 区分 | 進捗状況 | 取組件数 | 取組及び目標 | 資料 番号 |
|----|------------|------|---|----------|
| 済 | 完了 | 13 | ・ <u>国登録有形文化財旧上田家住宅の整備</u> | ※ |
| | | | ・ <u>病児病後児保育所の開設</u> …病児病後児保育所数 | 9 |
| | | | ・ <u>市役所資源ごみ終日回収ステーションの拡充</u> | 15 |
| | | | ・ <u>市役所新庁舎のゼロエネルギービルディングによる整備</u> …市役所新庁舎の省エネルギー化 | 15 |
| | | | ・ <u>災害備蓄物資の分散配備</u> …配備箇所数 | 17 |
| | | | ・ <u>浸水対策下水道雨水幹線等の整備の促進</u> …和井川1号幹線の整備完了 | ※ |
| | | | ・ <u>小型電波発信機やスマートフォンの位置情報機能など、IoT技術を活用した見守りネットワークの構築</u> | 18 |
| | | | ・ <u>通学路や地下道、幹線道路、公園、分別収集ステーションなどへの防犯カメラ整備促進</u> …防犯カメラ稼働台数 …自治会等への防犯カメラ整備補助による稼働台数 | 18 |
| | | | ・ <u>向日消防署新庁舎整備</u> | 19 |
| | | | ・ <u>水道料金の見直し</u> | 20 |
| | | | ・ <u>トイレ改修の計画的な推進</u> | 26 |
| | | | ・ <u>市役所新庁舎の整備</u> | 37 |
| | | | ・ <u>住民票交付場所の拡大と公金納付の利便性向上</u> …住民票の交付機及び公金収納機設置 | ※ |
| S | 計画以上に進んでいる | 6 | ・ <u>国登録有形文化財旧上田家住宅の活用</u> …旧上田家住宅来訪者数 | 1 |
| | | | ・ <u>創業希望者へのきめ細かな支援</u> …創業件数 | 4 |
| | | | ・ <u>特定保健指導の実施</u> …実施率（向日市国民健康保険実施分） | 10 |

| | | | | |
|----------|-------------------|-----|--|----|
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>生活支援コーディネーターと協議体の設置による生活支援体制づくり</u> …住民主体で介護予防に資する取組を実施する集いの場の数 ・ <u>地域の見守りネットワーク事業の推進</u> …協定事業者数 ・ <u>女性活躍推進事業の充実</u> …女性活躍センター団体等登録数 | 12 |
| | | | | 14 |
| | | | | 36 |
| A | 計画どおり進んでいる | 9 1 | 済、S、B、Cの項目以外全て | — |
| B | 計画より遅れている | 1 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群の整備</u> …朝堂院公園来訪者数 ・ <u>土産等特産品の開発</u> …開発件数 ・ <u>観光入込客数</u> ・ <u>観光消費額</u> ・ <u>名神高速道路スマートインターチェンジ開設事業の推進</u> ・ <u>特定健診の受診率向上</u> …受診率（向日市国民健康保険実施分） ・ <u>長寿健康診査の受診結果を活用した介護予防</u> …長寿健康診査受診率 ・ <u>がん検診の受診勧奨、がん予防の啓発</u> …大腸がん検診受診率 …乳がん検診受診率 ・ <u>要支援者に対する自主防災組織や消防団、民生委員などによる避難支援体制の整備</u> ・ <u>浸水対策下水道雨水排水路等の整備の促進</u> …東野辺地区雨水バイパス整備完了 …前小川の整備完了 ・ <u>不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実</u> …不登校の児童生徒の割合 ・ <u>文化芸術資源を活かした市民と来訪者の交流の創出</u> …文化資料館入館者数 ・ <u>防災拠点としての機能を備えた多目的グラウンドの整備検討</u> ・ <u>地域コミュニティの活性化</u> …自治会加入率 | 1 |
| | | | 2 | |
| | | | 2 | |
| | | | 2 | |
| | | | 7 | |
| | | | 10 | |
| | | | 10 | |
| | | | 11 | |
| | | | 16 | |
| | | | 17 | |
| | | | 24 | |
| | | | 31 | |
| | | | 32 | |
| 34 | | | | |

| | | | | |
|----------|------------|-----|--|----|
| | | | ・公金納付の利便性向上 …市役所窓口でのクレジットカード・電子マネーによるキャッシュレス決済の実施 | 37 |
| C | 未着手 | 0 | | |
| | 計 | 125 | | |

注) ※は、令和3年度及び令和4年度改訂時に改訂された「取組及び目標」のため、R4実績調書には記載されていない。

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱 I 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進

施策1 歴史・文化資源の整備と活用

基本方向

○史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群等市内に所在する文化財の保護及び積極的な整備・活用に努め、歴史・文化資源を活かしたまちづくりを推進し、未来に継承します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|--|--|
| <p>史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群の整備</p> <p>…朝堂院公園来訪者数 【H30: 8,455人 →R6: 10,000人】</p> | <p>【史跡長岡宮跡】 「大極殿東面回廊地区」等の適切な保存と活用を促進するため、個人所有の史跡指定地を公有化した。 朝堂院公園来訪者はコロナウイルス感染症の影響により、減少している。 令和4年度 4,347人(令和5年3月31日現在)</p> <p>【史跡乙訓古墳群】 「史跡乙訓古墳群保存活用計画(仮称)」の策定について、関係自治体(向日市、長岡京市、大山崎町、京都市)に加え京都府教育委員会と協議を開始したが、コロナウイルス感染症の影響により進捗できていない。 ・史跡乙訓古墳群の樹木や竹の伐採、除草、清掃等の維持管理を実施した。 ・史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳の規模と性格を把握するため、埋蔵文化財発掘調査を実施した。 ・史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳と竹の径の環境整備の一環として、竹林小屋の寄付を受けた。</p> <p style="text-align: center;">B</p> | <p>【史跡長岡宮跡】 公有化した上で、整備計画や範囲拡張を要し引き続き、「草引き」を実施する。</p> <p>【史跡乙訓古墳群】 引き続き、「草引き」を実施する。市民ボランティアによる草引き、把握するための調査を実施する。</p> |
| <p>国登録有形文化財旧上田家住宅の活用</p> <p>…旧上田家住宅来訪者数 【R6: 4,500人】</p> | <p>【国登録有形文化財旧上田家住宅】 旧上田家住宅来訪者 令和4年度 7,512人(令和5年3月31日現在) 同上貸室利用者 令和4年度 138組 6,729人(令和5年3月31日現在。上記の内数) 向日市制施行50周年記念旧上田家住宅アートギャラリー展 8月19日～11月3日 1,712人(上記の内数) 向日市制施行50周年記念・向日市教育150年記念 絵画コンクール2月21日～3月5日 737人(上記の内数)</p> <p style="text-align: center;">S</p> | <p>【国登録有形文化財旧上田家住宅】 引き続き、「国登録有形文化財」の活用を図り、市民生活や貸室等の活用を促進する。</p> |

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱 I 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進

施策2 観光振興の推進

基本方向

○「観る・食べる・買う」を充実させるとともに、国内外から積極的に観光客を誘致し地域経済の活性化を図るため、ハード・ソフト両面での総合的、多角的な観光施策を推進します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|---|----------|
| <p>向日市観光交流センターにおける観光誘客のための事業の実施</p> <p>…来館者数【H30: ー → R6: 92,000人】</p> <p>…向日市観光人材育成プログラム受講者数【R1: 26人 → R6: 200人(R1～6累計)】</p> | <p>R4来館者数(1～12): 109,985人</p> <p><指定管理者実施事業></p> <p>食の応援DAY、たけのこフェア、乙訓メロン予約販売、駐車場活用、2周年キャンペーン、クリスマスジャズコンサート、向日市観光交流センターPR隊事業、年末開館</p> <p>R4人材育成プログラム受講者数(R4実施: 0人)</p> <p>R3に予定されていた事業トライアルが初期投資等のリスクから実行に移せず、また新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中断している。</p> | <p>A</p> |
| <p>「竹の径」来訪者のための憩いの空間整備</p> | <p>市が誇る観光資源として、竹の径の景観をさらに向上させるため、新たな竹垣整備の検討を行った。</p> | <p>A</p> |
| <p>土産等特産品の開発</p> <p>…開発件数【H30: 7件(H27～30累計) → R6: 30件(H27～R6累計)】</p> | <p>開発延件数: 8件 / 目標30件(H27～R6累計)</p> <p>これまでに開発した商品を向日市観光交流センター等で販売することで、土産品を通じた市の魅力の更なる発信と拡散を図ることができた。また、京都府の「食の京都」の補助金等を用い、販売促進イベントやスタンプラリーなどを実施し、商品のPRに努めた。</p> | <p>B</p> |
| <p>ホテル等の複合型宿泊施設の誘致事業の推進</p> | <p>まちづくり推進課の回答に集約。</p> <p>複合型宿泊施設の誘致に向けて、土地区画整理事業の事業化の支援を行い、区画整理組合が設立された。</p> | <p>A</p> |

<観光交流センター引き続き、来館者数の増加が期待される。>

<観光人材育成プログラムの取り組みの向上を図る。>

事業費の算出を進める。

目標を見直し土産物認定品の従来の市の特色の流通や販路

引き続き、区

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覽

施策の柱 I 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進

施策3 まちの魅力の戦略的発信

基本方向

○ふるさと向日市に対する理解と愛着を深められるよう、まちの魅力を様々なツールを有効に活用し、戦略的に発信します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|--|------|
| <p>SNS(LINE@、Facebook等)による情報発信力の強化</p> <p>…LINE@及びFacebookに対する満足度(アンケート結果) 【LINE@ R1:2.92 → R6:3.40 Facebook R1:2.91 → R6:3.40】</p> | <p>SNSサービス「LINE」を活用し、さまざまな用途に応じて情報発信を行った。令和4年度は、イベント情報や緊急情報をお知らせする通常配信に加え、画像をクリックするとホームページやYouTubeサイトにリンクするリッチメッセージを設け、またLINE上で常に固定の情報が表示できるリッチメニューでは、窓口混雑状況などのリアルタイムな情報を発信するなど、利用者が求める情報発信の強化に努めた。</p> <p>また、広報誌等で向日市公式アカウントのQRコードを掲載するなど、幅広く周知を行った。 お友達登録者数 16,128人(R5.3.31現在) 参考:14,251人(令和4年3月31日時点) 情報発信回数 平均16回/月(R5.3.31現在)</p> | A |
| <p>「向日市いいとこPR隊たけのこりん」による情報発信の充実</p> <p>…たけのこりんのイベント等への登場回数【H30:— → R6:50回】</p> | <p>今年度は市制施行50周年事業として、老人福祉センターのバスラッピングや公用車マグネットシート、結婚パネル等に「たけのこりん」のデザインが多く採用されたほか、市内に設置されている4カ所の郵便ポストのデザインにも「たけのこりん」のデザインが施され、市内外の方々に対し、市全域で幅広く周知することができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少していた着ぐるみを用いたイベントへの出演頻度も徐々にではあるが戻りはじめ、大人から子どもまで幅広い世代の方たちと実際にふれ合うことができた。 R5.3月末時点での登場回数:22回</p> | A |
| <p>本市に対する市民の定住意向の割合 【R1:76.7% → R6:80%以上】</p> | <p>SNSによる定期的な情報発信や、イベント等での「たけのこりん」の積極的なPRなど、まちの魅力のアピールの機会を最大限に活用することで、本市のイメージ向上に寄与するとともに、市民の定住意向を高めるための魅力的な情報を効果的に発信することができた。</p> | A |

今後も状況に
ツールに備わ
やすく、伝わ

着ぐるみア
貸し出しな
回)に近づ
「たけのこ

引き続き、SN
用しつつ、ア
いく。

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱 I 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野2 産業の活性化

施策1 商工業の活性化

基本方向

○歴史を活かしたまちづくりの施策と連携しながら、向日市商工会や金融機関とともに、商工業者の育成や経営安定を支援する取組を推進し、市内商工業の振興、にぎわいの創出を図ります。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|---|------|
| <p>顧客に愛される魅力的な店づくりへの経営支援</p> <p>…経営指導数【H30:1,400件 → R6:H30実績比10%増】</p> | <p>向日市商工会経営支援員による事業者への訪問や窓口での相談を実施した。新型コロナウイルスの影響で、感染症発生前と比較して、問い合わせや相談が増加している。</p> <p><u>経営指導数 R4実績数:2,317件 (R3実績数:2,555件)</u></p> <p>市内の小規模事業者が、持ち味を活かした経営が出来るよう、向日市商工会が行う経営改善普及事業に対して助成を行った。</p> <p>①市内小規模事業者の経営(事業)計画書作成支援(作成件数 R3:205件→R4:106件) ②経営力向上や事業分野ニーズに応じたセミナー・講習会の開催 (R3:13回→R4:14回) ③事業所に対する各種補助金・計画認定申請の支援(採択件数 R3:184件→R4:83件)</p> | A |
| <p>創業希望者へのきめ細かな支援</p> <p>…創業件数【H30:3件 → R6:20件 (R2~6累計)】</p> | <p>創業者に対する補助金の交付と、専門家の経営指導による創業支援を行った。</p> <p><u>R4新規創業:9件 (R3:10件、R2:4件) ⇒ R2~R4累計:23件</u></p> | S |

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

原油価格・物収束の見通し
 感染予防の正
 とが出来ると
 支援していく

原油価格・物
 事業者向け
 事業に挑戦す
 の経営指導を

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱 I 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野2 産業の活性化

施策2 農業の活性化

基本方向

○新鮮で安心・安全な農産物を提供するために地産地消を推進するとともに、担い手の育成や新たなブランド農産品の開発支援、農業資源を活用した農商工の連携を推進し、やりがいのある農業経営を支援します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|--|--------------------------------------|
| <p>地元農産物の販路拡大と地産地消の促進</p> <p>…向日市観光交流センターにおける地元農産物の販売促進【R3:売上額 約960万円 → R6:R3実績比 10%増】</p> | <p>地元農産物の販売促進及び地産地消を推進するため、向日市観光交流センターに常設の農産物販売所の充実を図った。</p> <p>なお、令和4年度においては、年2回実施した「向日市おうえん割引クーポン事業」の効果により、大幅に売上額が増加した。</p> <p>また、12月にはJA京都中央向日支店の跡地を使用し、地元生産農家者による野菜直売会を行い、地元農産物の販路拡大に努めた。</p> <p>売上額 R4: 約1,300万円 (R3実績比: 約35%増)</p> | <p>A</p> |
| <p>耕作放棄地の防止施策や放置竹林対策の実施</p> <p>…市民ボランティアによる竹林保全【H30:未実施 → R6:2箇所】</p> | <p>令和2年10月に発足した向日市竹林ボランティアにより、市が整備した適正管理モデル竹林2箇所に加え、寺戸大塚古墳付近の竹林について、引き続き、適正な整備に取り組んだ。</p> <p>また、令和5年1月に農業委員会において、竹やぶの利用状況調査を行い、放置竹林所有者又は耕作者に対して、適切に管理するよう指導を行った。</p> | <p>A</p> <p>竹林ボランティア、様々な世間で、広報誌や</p> |
| <p>農商工の連携による特産品の開発への支援</p> | <p>昨年度に引き続き、地元産メロンを乙訓メロンと称し、向日市観光交流センターの物産コーナーにおいて、予</p> | <p>向日市観光</p> |

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱 I 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野3 都市基盤の整備

施策2 快適で安全便利なまちづくり

基本方向

○アクセス拠点の整備等、市民の利便性の向上と産業・観光の振興を図るとともに、都市計画制度を活用した快適で安全便利なまちづくりを推進します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|--|------|
| 土地利用の転換による事業所の誘致事業の推進 | 阪急洛西口駅西地区まちづくり協議会に対して、土地区画整理事業の事業化のための支援を行い、区画整理組合が設立された。 森本東部土地区画整理組合に対して、区画整理事業の円滑な推進のための支援を行った。 | A |
| 幹線道路沿道のにぎわい創出に向けた都市計画変更 | 市南東部地域からのJR向日駅へのアクセス性向上やまちづくりの誘導を図るため、都市計画道路牛ヶ瀬馬場線の都市計画の決定・変更を令和4年6月16日付で行った。また、本都市計画道路に近接している森本東部地区において、向日駅周辺整備などの都市計画事業と一体的に産業拠点の形成を図るため、地区計画の都市計画変更を令和5年2月15日付で行った。 | A |
| ぐるっとむこうバスをはじめとする公共交通の利用促進 | 【ぐるっとむこうバス】 令和4年5月にルート変更及びバス停の増設を実施し、ぐるっとむこうバスの利便性を向上させた。市制施行50周年事業として、夏休み期間に小学生、お盆前後の期間にすべての方を対象として無料おためし乗車を実施し、8月は1便あたりの平均乗車人数が過去最多となった。 向日市緑化ポスター展の優秀作品をぐるっとむこうバスのほか、市内タクシー事業者4社の車内に展示し、市民に積極的な乗車を呼びかけた。(令和4年12月～令和5年3月) 【公共交通】 乙訓地域の路線バス及びコミュニティバスで使用できる1日乗車券「もうひとつの京都周遊バス 竹の里・乙訓」を京都府の支援を受け、路線バス事業者と協同して発売した。 | A |
| 歴史探索に利用できる公園整備 | 令和4年6月に物集女城公園を開設するとともに、物集女城跡を紹介する案内板等の整備を行った。 | A |
| 地籍調査の推進 …地籍整備率 【H30:2.5% → R6:10%】 | 令和3年度に地籍調査を開始した地区(物集女町ヲサン田、クヅ子)について調査を完了した。 R4:完了後地籍整備率7.6% | A |

阪急洛西口駅
整理組合に
のための支

幹線道路沿道
R向日駅周
について見直

ぐるっとむこう
トやバス停位
公共交通全
な利用を呼

史跡岡宮跡
る。

令和4年度調
地籍整備率7

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱 I 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野3 都市基盤の整備

施策3 駅周辺の都市基盤整備

基本方向

- JR向日町駅周辺を整備し、駅への利便性や安全性を向上させるとともに、中心にぎわいゾーンへの都市機能の誘導を図ることで、まちの活性化を図ります。
- 阪急東向日駅について、「古都のむこう、魅力のふるさと」にふさわしい整備を行います。
- 阪急京都線の連続立体交差事業の検討を行い、阪急東向日駅周辺の都市基盤整備を推進します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 | |
|---|---|------|--------------|
| <p>JR向日町駅周辺整備事業の推進</p> <p>…<u>東西自由通路・駅前広場の整備</u></p> <p>…<u>市街地再開発事業の事業化</u></p> <p>…<u>駅周辺における安全対策の調査・検討</u></p> | <p>駅東口へのアクセス道路となる市道第3064号線について、道路の拡幅工事を実施した。</p> <p>東西自由通路について、実施設計を進めるとともに、支障移転工事に着手した。</p> <p>市街地再開発事業について、円滑な推進のための支援を行った。</p> | A | 引き続き、駅備を図る。 |
| <p>阪急東向日駅周辺整備事業の推進</p> | <p>阪急東向日駅周辺道路整備について、鉄道事業者と安全な歩行空間を確保するため協議を行った。</p> | A | 引き続き、鉄協議を行う。 |
| <p>阪急京都線連続立体交差事業の事業化に向けた検討</p> | <p>調査検討結果を基に、実現可能な整備手法・スキームについて内部検討を進めている。</p> | A | 引き続き、調キームにつ |

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野1 少子化対策・子育て支援

施策1 安心して産み育てる体制づくり

基本方向

○安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりを推進します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|---|----------|
| <p>幼児教育・保育のべストマッチを推進 …【待機児童0人を継続】</p> | <p>保育を必要とする2歳児について、就労等により家庭での保育が困難になる場合、幼稚園において一時的に預かることで、安心して子育てができる環境を整備するため、保育を必要とする2歳児の預かりを行っている幼稚園に補助金を交付するなど、幼稚園と連携し待機児童対策に取り組んだ。</p> <p>待機児童(4月時点) R1:24人 R2:10人 R3:3人 R4:0人</p> | <p>A</p> |
| <p>病児病後児保育所の開設 …病児病後児保育所数【H30:1か所 → R2:2か所】</p> | <p style="text-align: center; font-size: 2em; background-color: #f08080; padding: 20px;">令和2年度 完了</p> | |
| <p>子ども虐待の未然防止対策の推進 …家庭児童相談室の機能強化【R1:虐待対応専門員未配置 → R4:配置】</p> | <p>令和4年4月1日付けの組織改正により、これまで子育て支援課で所管していた家庭児童相談室の機能を拡充するとともに、ファミリーサポートセンター事業と子育てセンター事業を併せて所管換えし、本市の子ども家庭総合支援拠点として、専任の課長を置き、子育て支援課から分離した課として、子ども家庭課を設置した。保健師、保育士等の専門職を配置すると共に、児童相談所での勤務経験のある職員を配置し、虐待対応専門員として配置を行っている。</p> | <p>A</p> |
| <p>放課後児童健全育成事業の推進 …【入会要件を充たす全ての児童の受入れを維持】</p> | <p>全児童会で、入会要件を充たす児童を全て受け入れた。</p> | <p>A</p> |

引き続き、待機児童の利用を促していく。

引き続き、子育てでプロこれまで以上

引き続き、見まえながら、充実す全ての

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覽

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野2 健康づくりの推進

施策1 生活習慣病予防による健康生活への支援

基本方向

- 市民が主体的に健(検)診を受け、生活習慣の改善等の健康づくりに取り組めるよう支援します。
- 生活習慣病予防と介護予防との一体的な健康づくりを推進します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 | 医療保険課課言 |
|---|--|------|---------------------------|
| <p>特定健診の受診率向上 …受診率(向日市国民健康保険実施分)【H30:47.9% → R5:55%】</p> | <p>医療保険課記載のとおり 個々の特性に応じた受診勧奨通知を制作し、7月に5,286名と9月に1,014名の延べ6,300名に対して郵送した。また、10月には15名に対して訪問による勧奨を実施した。 特定健診の受診率は令和4年度に令和3年度実績が把握できることから、令和3年度の実績は44.7%であり、令和2年度の44.7%と変化が見られなかった。新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えや受診勧奨の規模を縮小していること等が影響していると考えられる。</p> | B | 令和5年度にを行う専門事果的な受診率 |
| <p>特定保健指導の実施 …実施率(向日市国民健康保険実施分)【H30:59.1% → R5:65%以上】</p> | <p>特定保健指導対象者で教室、相談事業に参加されない方には、複数回、曜日や時間帯を変えて個別に家庭訪問を行い、保健指導を実施した。 保健指導実施率79.9%(令和3年法定報告(令和4年10月公表)昨年度と同じ実施率で維持できた(令和2年度法定報告:79.9%)(国の目標値60%)。</p> | S | 生活習慣病のき教室・個別いく。健康推進課課言 |
| <p>糖尿病など生活習慣病の重症化予防 …糖尿病の保健指導を実施した割合【H30:60.1% → R5:65%以上】</p> | <p>健康推進課記述のとおり 糖尿病性腎症重症化予防事業 人工透析者の減少を図るため、糖尿病が重症化するリスクの高い方で医療機関への未受診者や、治療中断者に対して家庭訪問による受診勧奨を行い医療につなげるとともに、糖尿病が重症化するリスクの高い方に対し訪問指導を実施した。 糖尿病の保健指導実施割合…令和5年3月末現在59.2%(令和3年度68.7%)(内訳)未治療者への保健指導実施率…61.5%(令和3年度64.2%) 治療中断者への保健指導実施率…53.0%(令和3年度62.5%) 重症化ハイリスク者への保健指導実施率…63.1%(令和3年度79.3%)</p> | A | 令和4年度保行った方の受ける数値になるよう訪問 |
| <p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業(令和5年3月末現在)</p> | | | 長寿健康診率。新型コロナの健康診受診率引き続き広報 |

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覽

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|--|----------|
| <p>がん検診の受診勧奨、がん予防の啓発 …大腸がん検診受診率 【H30:12.1% → R6:14.0%】 …乳がん検診受診率 【H30:10.9% → R6:14.0%】</p> | <p>令和4年度大腸がん検診受診率…令和5年3月末現在10.5%(令和3年度11.0%) 受診者数 集団検診:177人(令和3年度229人) 個別検診:3,489人(令和3年度3,613人) 大腸がん検診の受診勧奨を目的として、健康づくり年間予定表の各戸配布に加え、国保加入者で前年度大腸がん未受診者のうち、41歳34人、50歳118人、55歳101人、60歳90人、65歳158人に対し受診勧奨ハガキを送付した。 令和4年度乳がん検診受診率…令和5年3月末現在9.0%(令和3年度8.9%) 受診者数 集団検診:621人(令和3年度:682人) 個別検診:202人(令和3年度:185人) 乳がん検診の受診勧奨を目的として、健康づくり年間予定表の各戸配布に加え、6月上旬に49歳女性513人、令和3年度無料クーポン対象者で未受診者254人、令和4年度無料クーポン対象者で10月末時点で未受診者285人、45歳女性で10月末時点で未受診者425人に受診勧奨ハガキを送付した。受診勧奨ハガキの文面について、必要な情報が一目でわかるように工夫し、見直しを行った。 広報むこうに年間で大腸がん検診2回、乳がん検診4回の掲載を行った他、公共施設でのポスター掲示、庁舎内の電子掲示板を活用した受診勧奨、チラシの配架等、がん予防の啓発に努めた。</p> | <p>B</p> |
| <p>自発的な健康づくりの推進 …健康ポイント事業 達成者数 【H30:61人 → R6:200人】</p> | <p>ポイント事業参加者を増やすため、達成者に贈呈する賞品について、新たな事業所に参加いただき、参加意欲の向上を図った。 参加にあたり必要なポイントカードを窓口配布だけでなく、市HPやLINEを活用することで、多くの方に周知を行うことができた。結果として、令和3年度の83名から令和4年度は153名の方にご参加いただくことができた。</p> | <p>A</p> |

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

若い世代が、Web申請の周知も活用し、また、ポスター媒体を活用し、受診勧奨ハガキがわかるよう、画面等の見直し

一人でも多く組んでいただき、センティブとなり、楽しく、励みも検討を始め

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覽

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野3 高齢者が安心して暮らせる体制の充実

施策1 地域包括ケアシステム及び認知症施策の推進

基本方向

○地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムの機能強化を図るとともに、認知症に対する市民の理解を深め、認知症の早期発見・早期対応への取組を推進します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|--|----------------------------|
| <p>生活支援コーデイネーターと協議体の設置による生活支援体制づくり</p> <p>…<u>住民主体で介護予防に資する取組を実施する集いの場の数</u>【H30:2か所 → R6:18か所】</p> | <p>高齢者の筋力・体力の低下を防ぐため、自宅で実践できる向日市オリジナルの介護予防体操「がんばり体操」の普及活動を実施した(ラジオ放送・動画公開・体操の実施指導等)。</p> <p><u>新規集いの場4か所の立ち上げ支援と、既存の集いの場15か所の活動支援を行った。</u></p> <p><u>集いの場19か所(うち新規4か所) <令和5年3月31日現在></u></p> <p>高齢者の居場所づくりや生活支援体制づくり等について検討する協議体の会議を2月に開催した。</p> | <p>S</p> |
| <p>認知症高齢者を支える体制づくり</p> <p>…<u>認知症サポーター数</u>【H30:8,000人 → R6:9,500人】</p> <p>…<u>見守りSOSネットワーク協力事業所(登録事業所数)</u>【H30:108 → R6:130】</p> | <p>認知症地域支援員による認知症サポーター養成講座を実施。</p> <p>認知症サポーター養成講座の受講者数 102人</p> <p>認知症サポーター数 9,520人 <令和5年3月31日現在></p> <p>認知症高齢者等への見守り意識の向上やSOSネットワーク事業の周知を図るため、ステッカーを活用しながら、協力事業所の増加に努めた。</p> <p><u>見守りSOSネットワーク協力事業所数 120件 <令和5年3月31日現在></u></p> <p>QRコードシールや認知症ケアサイトの周知、「きょうと認知症あんしんナビ」に関する啓発物配布の協力など、家族介護者の負担軽減を図るとともに、認知症に対する地域の理解を深める取組を推進した。</p> <p>在宅の認知症介護を行う家族介護者を支えるため、大学と連携して介護知識等を学ぶ機会を提供し、介護力の向上や介護ストレスの軽減を図るとともに、もの忘れや認知症の進行防止に繋げる取組を行った。</p> | <p>A</p> |
| <p>認知症初期集中支援</p> | <p>認知症初期集中支援</p> | <p>「がんばり体操」の場場の創設に努める。</p> |

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野4 障がい者福祉の充実

施策1 安心して暮らし続けられる共生社会の実現

基本方向

○障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることができる施策の充実に努めます。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|--|----------|
| <p>相談支援体制の強化 …<u>計画相談支援</u>作成率 【H30:100% → R6:100%】</p> | <p>R4:100% サービス等利用計画・障害児支援利用計画作成率100%を維持した。 事業所が安定的に運営できるよう、相談員の報酬単価の見直しを国・府に対して要望した。</p> | <p>A</p> |
| <p>地域での生活を支援する福祉サービスの充実 …<u>就労移行支援事業</u>の利用者数 【R1:11人 → R6:15人】</p> | <p>R4:23人 就労移行支援事業については、令和4年度の利用者数は23人(R3は30人)となった。 自立生活援助、就労定着支援、高齢障がい者に係る介護保険サービスの償還制度等のサービスは継続して実施している。 また、乙訓圏域障がい者自立支援協議会の就労支援部会の取り組みとして、庁内実習を実施し、2名(うち向日市在住者は1名)の受け入れを行った。 向日が丘支援学校の進路相談については令和4年度は16名(R3は6名)を対象とし、卒業後の就労移行支援事業を含む福祉サービスの紹介や手続きの案内などを行った。</p> | <p>A</p> |
| <p>手話言語条例の啓発・推進 …<u>事業所向けの啓発事業</u> 【H30:未実施 → R6:実施】</p> | <p>R4:実施 市内の事業者に対して商工会を通じて、10月に障害者差別解消法の啓発チラシを700部配布し、3月に手話の普及・啓発を図るため、手話マンガや市の手話動画を紹介するチラシを700部配布した。 手話教室については令和3年度末に作成した動画をを用いて学習を実施することができた。(12回開催/受講者のべ198人) 啓発用の手話動画については、「手話でふれあう向日市」全6本、「指文字表を作ろう」1本、「チャレンジつながる手話」11本、「聞こえない人のくらしについて学んでみよう」全10本の計28本を配信。(ろうあ者のコロナ対策用手話動画は4本配信)</p> | <p>A</p> |

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

今後もサービス100%の状態(サービス等障害児支援)令和2年3月

継続的な達成する福祉サービスの提

手話教室実施している。啓発活動に一度に実施する

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野5 地域福祉の充実

施策1 福祉のまちづくりの推進

基本方向

○市民一人一人がご近所や地域で助け合い、支え合えるまちづくりを進めます。

| 令和4年度実績 | | 進捗状況 |
|---|---|------|
| 取組及び目標 地域共生社会実現サポ ート事業の推進 …… 実施事業所数 【R6:14事業所 (R2～R6累計)】 | 京都府と連携し、地域福祉共生社会実現サポート事業を実施するとで、社会福祉法人の運営体制強化を図った。 地域共生社会実現サポート事業 R4実施事業所数/4事業所(R2～R4累計:12事業所) | A |
| 地域の見守りネット ワーク事業の推進 …… 協定事業者数 【H30:10事業者 → R6:15事業者】 | 高齢者が住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けられるよう見守りネットワークを構築し、地域での見守り体制を推進した。 協定事業者数 15事業者<令和5年3月31日現在> | S |

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

引き続き事業等の向上を図る

協定事業者の協力を周知する

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野7 生活の安心・安全の確保

施策1 災害対策の充実

基本方向

- 自助・共助・公助の連携によりあらゆる災害に対する備えが強化され、誰もが安心して暮らすことのできるまちを目指します。
- 地震や大雨、台風などの災害に対する自助意識の醸成と高揚を図り共助を高めます。
- 情報伝達体制の強化や避難支援体制の整備、避難所運営体制の充実等、災害時の市民の安心・安全を守る取組を推進します。
- 局地化、激甚化する降雨にも対応するため、雨水幹線整備を進めるとともに、既存小規模排水路の改善等により、更なる浸水安全度の向上に努めます。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|---|------|
| <p>防災マップの周知 …<u>防災出前講座・出前授業の実施回数・参加人数</u> 【H30:17回・631人 → R6:20回・700人】</p> | <p>コロナ禍で昨年に引き続き、申込みが少ない中、市民の防災知識の向上を目的として、防災マップを活用した学校への出前授業や地域での出前講座を行った。 【出前講座と防災訓練の実施回数・参加人数: (R3)1回 72人, (R4)6回 912人】</p> | A |
| <p>自主防災組織の育成 支援及び消防団との 連携強化</p> | <p>自主防災組織を対象に、消火器や防火バケツ、車椅子(けん引仕様)などに購入費用について補助金を交付し、地域での防災資機材の充実を図ることで、地域コミュニティを高め、共助の確立を促した。 【補助金交付数: (R3)16団体, (R4)17団体】</p> | A |
| <p>桂川・小畑川氾濫時 などにおける情報伝 達体制の強化</p> | <p>全国瞬時警報システム(J-ALERT)、エリアメール、防災メール、防犯メール、防災デジタル無線を継続して配備するとともに、FMおとくにとの協定を継続することによって複数の伝達手段を確保した。</p> | A |
| <p>要支援者に対する自 主防災組織や消防 団、民生委員などに よる避難支援体制の 強化</p> | <p>個別避難計画の策定に向けた体制を整理し、福祉部局と防災部局で情報共有や意見交換を行うとともに、京都府が実施する研修に3回参加し、他自治体の事例を研究した。 また、既存の要配慮者名簿を基に、浸水想定区域対象者の整理を行った。</p> | B |
| <p>要支援者に対する自 主防災組織や消防 団、民生委員などに よる避難支援体制の 強化</p> | <p>令和4年度末現在、福祉避難所の開設について、社会福祉法人向陵会(乙訓ひまわり園/平成26年4月)、乙訓福祉施設事務組合(乙訓若竹苑・ポニーの学校/平成27年7月)と協定を締結している。 向日が丘支援学校に対しては協定の締結に向けて働きかけを行っているところである。</p> | A |

出前講座や防災マップの内容を参考に講

地域の出前講座を行う。

防災用デジタルよう検討を行

関連所属と連構築に取り組

災害の危険度、場所や避

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|---|------|
| 災害備蓄物資の分散 配備 ……配備箇所数 【H30:17か所 → R6:27か所】 | 北部・中部(市役所)及び南部の防災拠点や市内の避難所である市民体育館及び各小中学校、公民館等の28か所のほか、今年度オープンした市民会館、物集女城公園にも分散配備を行った。 【配備箇所数:(R3) 28か所、(R4) 30か所】 | 済 |
| 土砂災害特別警戒区域対策の推進 | 土砂災害特別警戒区域がある物集女町長野(う2001)について、京都府が対策工事に向けた現地調査を行った。 | A |
| 浸水対策下水道雨水排水路等の整備の促進 ……東野辺地区雨水バイパス整備完了 【R4:完了】 ……前小川の整備完了 【R5:完了】 | 東野辺地区雨水バイパス整備について、令和4年度の工事着工に向け準備を進めた。 前小川の整備については、呑龍トンネル南幹線の京都府接続施設の設置場所の選定を進めた。 | B |
| 雨水タンクの助成制度の推進 ……設置数 【H30:13基 → R6:50基 (R2～6累計)】 | 令和6年度までの目標設置数50基の内、令和4年度は、7基設置(R5.3月末時点)することができた。 R2～R4設置数:36基(R5.3月末現在) | A |

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手



対策工事に向け関係部局と連携

令和5年度もを進めていく

令和5年度にジ、町内回覧設置促進を図

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野7 生活の安心・安全の確保

施策2 防犯力の強化

基本方向

- 地域力を活かした市民ぐるみの防犯運動を推進します。
- 防犯カメラやIoT技術を活用して犯罪の未然防止を図るなど、地域の防犯力を高めます。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|--|------|
| <p>地域の防犯ボランティア団体との連携充実</p> | <p>これまで犯罪のないまちの実現に向け、向日町警察署防犯推進委員協議会向日支部及び向日市生活安全推進協議会において、啓発活動や防犯パトロール等を実施することで連携強化に努めてきた。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小し、街頭啓発2回実施し、防犯パトロールを実施した。</p> | A |
| <p>小型電波発信機やスマートフォンなどの位置情報機能など、IoT技術を活用した見守りネットワークの構築</p> | <p>令和2年度 完了</p> | |
| <p>通学路や地下道、幹線道路、公園、別荘集ステーションなどへの防犯カメラ整備促進</p> <p>…防犯カメラ稼働台数【H30:32台 → R6:300台】</p> <p>…自治会等への防犯カメラ整備補助による稼働台数【H30:3台 → R6:13台】</p> | <p>令和2年度 完了</p> | |

今後も活動を

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覽

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野8 消防力の強化

施策1 防火体制と救急救助体制の充実

基本方向

○自主防災組織や消防団活動を支援するとともに、市民一人一人の救急救命に関する知識を深め、技術の向上に努めることなどによって、火災や事故などの災害への対応能力向上を図ります。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 | |
|-------------------------|--|------|-----------------|
| 自主防災組織や自治会・町内会での消火器設置補助 | 自治会・町内会を対象に、消火器と格納箱の購入費用について補助金を交付し、地域での防火資器材の充実に努めた。 【補助金交付数：14団体(R3)→15団体(R4)】 | A | 地域の出前講習器の設置を推 |
| 消防団による地域行事における警戒活動の実施 | 各分団により新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地元自治会の要請による運動会や常夜灯まつり等、地元自治会と連携をはかりながら警戒活動を実施した。 | A | 十分な感染防止対策等での警戒 |
| 救急講習受講の啓発 | 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、消防団員に向けた運転教養を実施し、30名程度の参加があった。 今年度は運転教養を実施したため、救急講習は実施せず、来年度計画通りに実施する予定である。 | A | 令和5年度に |
| 火災警報器等防火機器普及促進の啓発 | 各分団車庫に住宅用火災警報器普及啓発ポスターの掲示を行い、乙訓消防組合と連携して「広報むこう」に住宅用火災警報器の普及啓発について掲載した。 | A | 地域の出前講習の重要性を促し、 |

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野9 ライフラインの強化

施策1 上下水道事業の安定経営

基本方向

- 水道施設の計画的な整備や財源の確保、更なる経営改善に努め、運営基盤を強化します。
- 水道施設を強化し、災害時や緊急時でも安全で良質な水を安定供給します。
- 下水道施設の長寿命化を図るため、予防保全型の維持管理を行います。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|---|------|
| 水道料金の見直し | 令和2年度 完了 | |
| 水道管路の耐震化 …重要な管路(基幹管路)の耐震化を204m実施した。 【H30:25% → R6:40%】 | 重要な管路(基幹管路)の耐震化は計画とおり進んでいるが、当該年度に実施した事業は次年度以降の完了予定となるため、現在の耐震適合率は前年度と同じ28.3%となった。 | A |
| 下水道施設の長寿命化の推進 …マンホール等管路施設の内部の点検及び調査 【年間300箇所】 | マンホール調査を259箇所(うち職員による調査:100箇所)実施した。 | A |

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

災害時や緊急時
水道管路の耐震化

令和5年度に
調査補助を
調査に対応でき

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|--|----------|
| <p>伝統や文化、芸術に関する教育の推進</p> | <p>新型コロナウイルス感染症の影響により全校一斉による芸術鑑賞等の活動はできなかつたが、日本の伝統文化に関わる音楽授業において琴の演奏などの体験活動を実施するとともに、総合的な学習の時間では、能などの伝統文化に触れる機会を設定した。また、各学校の「ふるさと学習」では、校区の歴史及び向日市の歴史や伝統文化について調査・研究する活動を実施した。</p> | <p>A</p> |
| <p>ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実</p> <p>…今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合</p> <p>【H30：小学4年生(72.4%) → R6：小学4年生(80%)】</p> | <p>コロナ禍であったが、各学校では「ふるさと学習」として、史跡、施設(図書館や文化資料館等)の見学、市職員等を外部講師とした学習を進めた。また、一部の小学校においては、京都府教育委員会から「絆の作り手育成プロジェクト研究校」の指定を受け、6年生児童が向日市の史跡等について調査・研究し、学習成果を市長に伝えることができた。</p> <p>各学校で取り組んでいる状況を市民に伝えた。</p> <p>また、各中学校においては、総合的な学習の時間において「向日市ふるさと検定」を受検し、ふるさと向日市への関心を一層高める機会とした。なお、中学2年生を対象とした「職場体験活動」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。</p> <p>【今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合】 R4：小学4年生(55.7%)</p> | <p>A</p> |

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

可能な限り感じられる文化に触れる

児童生徒が「ふるさと学習」を通して、感染防止対策を講じながら、体験活動を通じて向日市に赴任し、部講師を招く

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覽

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野10 学校教育の充実

施策2 豊かな人間性の育成と多様性の尊重

基本方向

- 一人一人の尊厳と人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合い、主体的に行動し、自らの能力を最大限に発揮することができる教育を推進します。
- 多様な考えや価値観に触れることを通じて、人を思いやり尊重する心を育てるとともに、自らの考えや思いを伝えながら感性や情緒、創造力や表現力を大きくみます。
- すべての児童生徒が安心して通うことができ、楽しく過ごすことができる学校づくりに取り組みます。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|--|------|
| <p>あらゆる人権問題の解決に向けて、自ら考え行動できる児童生徒の育成</p> <p>…人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合 【H30:小学4年生(90.1%)、中学2年生(79.4%) → R6:増加】</p> | <p>各学校では、児童生徒や地域の実態等を踏まえ、人権に配慮した教育活動に努めるなど、教育活動全体に人権教育を適切に位置付け、一人一人を大切にされた教育を推進した。</p> <p>児童生徒を対象とした人権学習においては、人権意識の高揚及び人権問題の解決に向けた資質・能力の育成に向け、普遍的な視点からのアプローチと、新型コロナウイルス感染症への配慮等を含め、個別的な視点からのアプローチによる学習を充実させた。とりわけ、同和問題学習では、学習したことが知的理解にとどまらず、自分自身の課題としてとらえ、その解決に向けて実践できる意識・意欲・態度を育成する学習を実施した。</p> <p>また、昨年度実施した教職員対象の「向日市立小中学校教職員の人権教育に関する意識調査」では、とりわけ若手教員において同和問題(部落差別)に係る知識量が不足しているという課題が明らかになった。この結果を踏まえ、向日市教職員研修会において同和問題学習の授業づくりをテーマとした研修を実施するとともに、各学校において同和問題(部落差別)に係る知識の習得に重点を置いた校内研修会を実施することにより課題の解消に努めた。</p> <p>【人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合】 R4:小学4年生(90.0%)、中学2年生(82.0%)</p> | A |
| <p>道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実</p> <p>…人の気持ちがかたがた人間になりたいと思っ う子どもの割合 【H30:小学4年生(94.9%)、中学2年生(96.0%) → R6:増加】</p> | <p>各学校では「特別の教科 道徳」の授業を核とし、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、指導方法及び学習評価の工夫改善を行い、また、児童生徒に豊かな人間性や社会性を身に付けさせるため、読書活動を充実させるとともに公共の精神や伝統・文化に関する体験活動を通して、社会の一員として主体的に生きるための基本となる豊かな人間性を育む道徳教育を推進した。</p> <p>コロナ禍ではあったが、地域探検や動植物の観察などの体験活動に加え、地域の人材等を活用し、農作物の栽培や収穫や昔遊び体験などの体験活動を可能な限り実施した。また、適切な感染症対策を講じつつ修学旅行等の宿泊行事を実施し、豊かな自然や文化に触れる体験を通して人間的な触れ合いを深めた。</p> <p>【人の気持ちがかたがた人間になりたいと思っう子どもの割合】 R4:小学4年生(92.1%)、中学2年生(96.8%)</p> | A |

「向日市立小
果」を踏まえ
テーマとした
及び人権教育

本市や他地域
活動の実施
限り実施する

読書活動を通じた創

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覽

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|--|----------|
| <p>授業のユニバーサルデザイン化など一人一人を大切に指導の充実</p> | <p>各学校では、すべての児童生徒にとってわかりやすい授業、過ごしやすい学級となるよう、教室環境が整理整頓されていることにより、児童生徒が生活の見通しを持ちやすい視覚支援等の工夫に努めた。 また、各教科等の授業の場面に於いては、教員のタブレット端末を効果的に活用し課題を提示したり、児童生徒の学習状況をタイムリーに把握したりするなど、明確な指示の出し方や個別支援を確立するとともに、一人一人の学習の状況に応じた学習支援に努めた。</p> | <p>A</p> |
| <p>いじめや暴力行為の防止対策の充実</p> | <p>各学校は、向日市いじめ防止基本方針及び各学校のいじめ防止基本方針を踏まえ、いじめの未然防止やいじめへの対応、重大事態への対応等について共通理解を図るとともに、特定の教職員が、いじめに係る情報を抱え込むことが無いよう、組織的な対応に努めた。各校内に校長、教頭、教務主任、生徒指導主任、学年主任、養護教諭等からなるいじめ防止委員会は定期的に開催されているものの、情報共有に偏っている状況が見られるため、児童生徒及び保護者対応の方針等が丁寧に検討されるよう改善が必要である。 また、年2回のいじめアンケート及び個別面談を実施し、児童生徒一人一人の状況を把握するとともに、いじめと認知した事象について3か月後に追跡調査を行うなど、きめ細かな指導・支援に努めた。 年度当初には、問題事象への対応方針についても全教職員で共通理解を図るとともに、とりわけ暴力行為に対しては、決して許されない行為であり、指導に当たっては家庭と連携し、毅然とした対応を行った。 R4 重大ないじめ発生件数 0件 ※3月末現在</p> | <p>A</p> |
| <p>不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実 …不登校の児童生徒の割合 【H30:小学校(1.38%)、中学校(4.33%) → R6:減少】</p> | <p>各学校では、不登校の未然防止、早期対応を図るため、保護者と連携し、児童生徒一人一人の状況を把握し、指導・支援に努めた。また、不登校の状況に応じて、適応指導教室やフリースクール等の関係機関と連携し、児童生徒の学びの機会の保障に努めた。加えて、児童生徒一人一人の状況に応じた支援を充実させるため、配置のSCやSSWを活用し、学校の教員とともに組織的に支援を継続した。 教育委員会では、適応指導教室の開室や心の相談サポーターの配置など、不登校児童生徒の学校復帰に向けた取組や予防に努めた。また、本年度からSSWを教育委員会に配置し、不登校等の状況に応じた適切な支援に結びつけるとともに、来所や学校への巡回など保護者や教職員のニーズに応じ、臨床心理士や作業療法士等の専門家による教育相談を行った。 不登校児童生徒の割合 R4 小学校(1.78%)、中学校(5.82%) ※3月末現在 【R3 小学校(1.57%)、中学校(4.91%)】 【R2 小学校(1.52%)、中学校(4.06%)】</p> | <p>B</p> |

| | | |
|---------------------------|---|----------|
| <p>保幼小、小中等の校種間連携・接続の実</p> | <p>保幼小の円滑な接続を図るため、小学校教員と保育所や幼稚園の保育士や教員との連絡会を実施し、幼児と児童に係る情報交流を行った。 本年度も、各小学校でこれまで実施してきた近隣の保育所・幼稚園と子ども同士の遊びや、学校行事、学習での交流などの取組について、新型コロナウイルス感染症の影響により見合わせるなど、新型コロナウイルス禍であったが、中学校ブロッックごとに児童生徒の学習状況についての情報交換や、授業などの指導方法は改革しているが、中学校と幼稚園の連携が課題となっており、引き続き、児童生徒の学習状況について、保幼小の円滑な接続を図るため、小学校教員と保育所や幼稚園の保育士や教員との連絡会を実施し、幼児と児童に係る情報交流を行った。 本年度も、各小学校でこれまで実施してきた近隣の保育所・幼稚園と子ども同士の遊びや、学校行事、学習での交流などの取組について、新型コロナウイルス感染症の影響により見合わせるなど、新型コロナウイルス禍であったが、中学校ブロッックごとに児童生徒の学習状況についての情報交換や、授業などの指導方法は改革しているが、中学校と幼稚園の連携が課題となっており、引き続き、児童生徒の学習状況について、保幼小の円滑な接続を図るため、小学校教員と保育所や幼稚園の保育士や教員との連絡会を実施し、幼児と児童に係る情報交流を行った。</p> | <p>A</p> |
|---------------------------|---|----------|

引き続き、教の児童生徒のの実態に応じ

各学校のいじめに対する対応を組織的な対応を

すべての児童に対する支援がある学級づくりに児童生徒の

小学校と保育所をまえて実施時間連携についてで習面等の状況

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覽

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野10 学校教育の充実

施策3 健やかな身体の育成

基本方向

- 生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむ能力と体力の向上を図ります。
- 知育・徳育・体育の基礎となる食育の推進とともに、現代的な健康課題への理解を深める等、健やかな身体の育成を図ります。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|--|----------|
| <p>体力・運動能力の向上</p> <p>…新体力テストにおける全種別において、<u>全国の平均を上回る(全8種別中、全国平均以上の種別数)</u>【H30 → R6】 小6: 男子7種 女子4種 → 全種別 中3: 男子7種 女子5種 → 全種別</p> | <p>各学校では、これまでの新体力テスト等の結果を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、体育の授業を核として児童生徒の体力・運動能力の向上に向けた取組を進めた。</p> <p>小学校では休み時間等の外遊びの奨励、中学校では部活動を継続して実施するとともに、すべての学校において、可能な限りの感染症対策を講じて体育大会を実施し、運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組んだ。</p> <p>また、各学校では、体育の授業において健康や体力づくりについての基礎的な知識を学ぶ学習を行った。とりわけ「薬物乱用防止教室」等、健康で生きがいのある生活を営むため、身近に迫っている状況を踏まえた学習を行うとともに、保健だより等で家庭へ啓発し、生活習慣の見直しの取組を連携するなど、児童生徒の健やかな身体の育成を図る取組を進めた。</p> <p>【新体力テストにおける全種目別において、全国の平均を上回る】 R3 小6: 男子6種目、女子4種目 中3: 男子1種目、女子6種目</p> | <p>A</p> |
| <p>食に関する授業の充実等による食育の推進</p> | <p>小学校においては、家庭科等の授業や日々の給食指導に加え、栄養教諭・栄養士が各教科や特別活動の中で食に関する授業を行った。</p> <p>また、中学校では、家庭科の授業を中心に食に関する指導を行っており、また、給食の時間においては、各学級担任が献立を通じた食育を行った。</p> <p>教育委員会では、「中学校給食 料理コンクール」を実施し、生徒が献立を考えることを通じて栄養のバランスやおいしさなど食に対する関心を高める機会とした。なお、令和5年1月25日から同1月31日までの期間、コンクールに入賞した献立を提供した。</p> | <p>A</p> |

新体力テスト上に向けた取組も、また、体育大会実施時期や

中学校における指導の視点を

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野10 学校教育の充実

施策4 学びを支える安心・安全な教育環境の充実

基本方向

- 自然災害や事故などの多様な危機から子どもを守り、いかなる事態においても子どもたちの学びを止めない危機管理体制を整備します。
- すべての子どもが将来に希望をもって成長していけるように、学びと生活の支援が充実した居場所としての学校づくりに取り組みます。
- 強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が明るくいきいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指します。
- 子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図ります。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---------------------|--|------|
| 学校危機管理・安全対策の充実 | 学校では、児童生徒一人一人の状況について日常的に把握するとともに、いじめ・不登校の未然防止・早期解決を図る指導、また、避難訓練や交通安全教育の取組を充実させることにより、心身ともに健全な児童生徒の育成に努めた。 また、新型コロナウイルス感染症により、可能な限り児童生徒の学びを止めることのないよう、各家庭における感染症対策に協力いただきながら、本市の感染状況に応じた「学校における感染症対策」を更新させ、対応を徹底した。 | A |
| 学校施設個別計画を踏まえた改修等の実施 | 令和3年度から3年間は、緊急度の高い施設の改修に順次取り組むこととしており、令和4年度は、第4向陽小学校中校舎、第6向陽小学校南校舎、西ノ岡中学校北校舎及び寺戸中学校南校舎の外壁改修工事を行い、児童・生徒等の安全を確保し教育環境の改善を図った。また、向陽小学校南校舎、第3向陽小学校南校舎、第4向陽小学校南校舎、第5向陽小学校昇降口棟、第6向陽小学校全校舎及び寺戸中学校南校舎の屋上防水改修工事を行い、学校施設の健全化を図った。 | A |

令和2年度 完了

トイレ改修の計画的な推進
 バリアフリー改修の推進
 ……全小中学校のバリアフリートイレ、スロース

令和2年5月のバリアフリー法の改正を踏まえ令和7年度末までに、バリアフリートイレの整備及びスロープ等による段差解消を完了することとしており、令和4年度は第5向陽小学校及び第6向陽小学校校舎のバリアフリートイレへの改修工事を行い、また向陽小学校、第4向陽小学校、第6向陽小学校及び勝山中学校で、ス

各学校において交通安全教育対
 ルス感染症対策

小中学校個別
 事を進めてい
 質の向上や
 ていく。

完了

バリアフリー
 を進め、子供

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|--|----------|
| <p>教職員の資質能力の向上に向けた、多様な教職員研修の充実</p> | <p>コロナ禍であったが、リモート形式で向日市教職員研修会を実施した。講座については、「学習指導」を2講座、「同和教育」を1講座設定し、全ての教職員が所属する学校において、いずれかの研修に参加した。各学校においては、学校ごとに設定した重点研究テーマに沿った校内研修の実施に加え、特別支援教育、教育相談、人権教育などの研修を実施した。 また、各学校の学力向上等に係る課題克服のため、文部科学省や京都府教育委員会から研究指定を受け実践研究を進めるとともに、大学教授等の専門家を講師として招いた校内研修を行うなど、各学校の児童生徒の実態や教員の状況に応じた研究等により学校の教育力を高めた。</p> | <p>A</p> |
| <p>教育の質の向上と子どもたちの豊かな成長を目指す教職員の働き方改革の推進</p> | <p>市教委作成の「教育職員の勤務時間の上限等に関する方針」を踏まえ、学校運営における指導体制の充実を図り、中学校部活動運営の適正化や学校業務の更なる改善等を推進した。各学校では、これまでの取組を継続させるとともに、実態に応じ、「欠席連絡の電子化」や「ノー残業デー」の取組の徹底、会議におけるペーパーレス化などを実施した。</p> | <p>A</p> |

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

教職員の資質能力について、本件に実施する

教職員が自ら進んで、時間等の結果とする。

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野10 学校教育の充実

施策5 学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上

基本方向

- 保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をばぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。
- 次代の社会の担い手としての責任を自覚し、現代社会が抱える課題に関心をもち、主体的に社会参画できる資質と能力をばぐくみます。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|---|------|
| <p>環境や情報などに係る現代的課題に対する関心や理解を深める教育の充実</p> <p>…<u>新聞やテレビのニュースに関心がある子どもの割合</u>【H30: 中学2年生 (63.3%) → R6: 中学2年生 (80%)】</p> | <p>各学校では、理科や社会科の授業及び総合的な学習の時間において、日常生活や社会と関連付けながら、自然環境を保全することの大切さを指導するとともに、持続可能な社会の構築(SDGs)等について考察する学習を通して、解決に向け一人一人の工夫が大切であることを指導した。</p> <p>また、配付したタブレット端末を教科等の学習場面で活用しており、とりわけ情報ネットワーク等を活用する際には情報モラルについて指導するとともに、特別活動の時間において、スマホや携帯電話を使用する際に着む危険を理解する指導や、トラブルを未然に防止する手段について指導した。</p> <p>【新聞やテレビのニュースに関心がある子どもの割合】 R4: 中学2年生 (54.6%)</p> | A |
| <p>コミュニケーションスキルの導入準備</p> | <p>本市の小中学校において令和5年度の本格導入を踏まえ、教職員やPTA、地域の方々に対して、本市における学校運営協議会制度について丁寧に説明した。</p> <p>多くの学校では令和5年度中の導入を見据え、協議会委員の選出に向けてPTAや地域の方々に対して積極的に声かけを行い、協議会委員の中心となる方を選出した。</p> | A |

本市のゼロナ
できる環境教

導入を完了し
パーとして参

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野11 生涯学習の推進

施策1 生涯学習環境の充実

基本方向

○市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供、学習の成果を活かす場や機会の充実に努めます。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|---|------|
| <p>ふるさと向日市の歴史を活かした講座等多様な学習機会の提供</p> | <p>文化資料館において、古代衣裳をテーマとした講演会や、職員が展示準備や資料調査の中で調べたことを報告する日曜談話会、企画展記念講演会、企画展関連ワークショップ、学校展記念講演会を開催するなど、ふるさと向日市の特色ある歴史を様々な角度から学習する機会を提供した。</p> | A |
| <p>社会教育施設の特色を活かした学習機会と学習成果を活かした活動の充実</p> | <p>図書を購入に加え、館内では図書のテーマ展示を年間を通じて行い、あわせてLINE図書館案内システムや公式HP、広報、新聞をおして情報を発信することで、さらなる学びの機会を提供することができた。新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、図書提供や講座の実施などにより、ボランティア団体を支援し、おはなし会、本の修理、大人の朗読会、ビブリオバトルの活動を通じて、それぞれの学びの成果を活かすことができた。</p> | A |
| <p>社会教育施設の特色を活かした学習機会と学習成果を活かした活動の充実</p> | <p>文化資料館において、英文学者・書誌学者で和紙研究者でもあった寿岳文章の業績や居宅・向日庵について学習するとともに、本格的な紙漉きと和紙うちわ作りの体験を通して地域の歴史と和紙文化を学ぶ「夏休み親子歴史教室」を開催した。また、文化資料館を拠点として活動している自主学習グループ「むこうまち歴史サークル」への活動場所や学習資料の提供、古文書解読の助言などの支援を行った。</p> | A |
| <p>社会教育施設の特色を活かした学習機会と学習成果を活かした活動の充実</p> | <p>令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プラネタリウム投影をはじめ、天体観望会、天文教室、天文学講座については、定員を減らし実施したが、施設の特徴を活かし、広く市民の皆様が天体に関する理解と関心を深めてもらえる事業を実施することができた。</p> | A |

様々な時代やジャンルなどを開催し

図書の購入に際し、新聞や報や新聞などを行い、あらゆる書提供や講座をおはなし会、活動を通じて、

引き続き、夏の活動支援への活動支援

令和5年度にけるよう、定員を減らし実施したが、施設の特徴を活かし、広く市民の皆様が天体に関する理解と関心を深めてもらえる事業を実施することができた。

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野11 生涯学習の推進

施策2 家庭・地域社会の教育力の向上

基本方向

- 家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努めます。
- 学校・家庭・地域社会が連携して、様々な活動を通して地域の絆を強め、地域全体で子どもたちをばぐむ環境づくりを推進します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--|---|----------|
| <p>家庭教育講座の実施等、就学前からの子どもへの発達に応じた家庭教育に関する学習機会の提供</p> | <p>令和4年度は、ネット社会において子どもたちの非認知能力を育む方法や、親や地域の大人と子ども達の関わり方について学ぶ機会を市民向けに、家庭教育講座として開催した。</p> | <p>A</p> |
| <p>地域学校協働活動の推進等、地域社会の教育力の向上</p> | <p>家庭や地域社会の協力及び学校との連携により、9校と地域で支える地域学校協働活動を新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施するとともに、向日市青少年健全育成連絡協議会やPTAなど社会教育関係団体を支援することにより、地域社会の教育力向上に努めた。</p> | <p>A</p> |

保護者等を文
するなど、学

これまで通り
度から順次開
の一体的な排
上を目指す。

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野11 生涯学習の推進

施策3 市民文化の振興

基本方向

- 市民の自主的な芸術や文化活動に対する支援を行うとともに、文化事業の充実を図る等、優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めます。
- 本市の多様な歴史を活かした文化芸術資源を掘り起こし、新たな魅力を創出します。

| 令和4年度実績 | | 進捗状況 |
|--|--|------|
| 取組及び目標 新たな市民会館を文化芸術振興の拠点として活用 | 文化芸術振興の活動の拠点である永守重信市民会館が令和5年2月に開館され、「宝くじ文化公演 千住真理子&関西フィル弦楽アンサンブルコンサート」「開館記念ピアノコンサート」を開催し、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努めることができた。 | A |
| 文化芸術資源を活かした市民と来訪者の交流の創出 ……文化資料館入館者数 【R1: 15,337人 → R6: 19,000人】 | 令和4年度入館者数 10,298人(R5.3月末現在) 新型コロナウイルスの影響は依然として大きいですが、「くらしの道具展」の小学校団体見学予定数は前年度の3校から12校に大幅に増加しており、令和4年度の入館者数は前年度を上回った。 (参考) 令和3年度 10,156人 令和2年度 8,214人 令和元年度 15,337人 平成30年度 15,461人 | B |
| 公共施設における貸館サービスの充実 ……貸館施設予約・決済システムサービスの実施 【R6: 完了】 | 令和5年2月に開館した永守重信市民会館において、向日市施設予約システムを導入した。令和4年11月からインターネットで予約が行えるようになり、クレジットカード、コンビニ払い、ペイジー、PayPayの各キャッシュレス決済にも対応することで、市民の方がご自宅等から予約していただくことができるようになった。 | A |
| | 引き続き、市行うとともに、 | |
| | 企画展、テーマの多彩な歴史に出に繋げる。 | |
| | 引き続き、他検討を行って | |

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野12 生涯スポーツの振興

施策1 スポーツ活動の推進

基本方向

○スポーツを「する」「みる」「ささえる」を通じたスポーツ人口の拡大を目指し、市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実を努めます。

| 令和4年度実績 | | 進捗状況 |
|--|----------|---|
| <p>取組及び目標</p> <p>公益財団法人向日市スポーツ文化協会と連携し、向日市立学校等体育施設開放事業やさまざまな世代を対象としたスポーツ教室の実施をはじめ、スポーツ推進委員によるウォーキングなどの事業や各地区のスポーツ事業の指導者派遣にしっかりと応えられるよう1回の研修会など、ライフステージに応じたスポーツ環境の充実に、新型コロナウイルス感染症対策とスポーツ活動の高立を図りながら取り組んだ。</p> | <p>A</p> | <p>公益財団法人向日市スポーツ文化協会と連携し、向日市立学校等体育施設開放事業やさまざまな世代を対象としたスポーツ教室の実施をはじめ、スポーツ推進委員によるウォーキングなどの事業や各地区のスポーツ事業の指導者派遣にしっかりと応えられるよう1回の研修会など、ライフステージに応じたスポーツ環境の充実に、新型コロナウイルス感染症対策とスポーツ活動の高立を図りながら取り組んだ。</p> |
| <p>防災拠点としての機能を備えた多目的グラウンドの整備検討</p> | <p>B</p> | <p>整備を検討するにあたり、用地や財源などの課題の抽出を行っている。</p> |
| <p>成人がスポーツを実施する機会の充実 …成人向けスポーツ教室の開催 【R1:36回 → R6:60回】</p> | <p>A</p> | <p>公益財団法人向日市スポーツ文化協会と連携し、向日市立学校等体育施設開放事業やさまざまな世代を対象としたスポーツ教室の実施により、成人がスポーツを実施する機会を充実させた。 【成人向けスポーツ教室の開催数 R4:38回】</p> |

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

公益財団法人各種事業を実施し、スポーツ活動の推進

まとまった費用の影響、財源確保を協議・検討を

引き続き、成人がスポーツには、成人向

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覽

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

施策分野1 市民協働の推進

施策1 市民のまちづくり参加の仕組みの構築

基本方向

○まちづくりの取組及び事業計画の企画・立案段階から市民の意見や意向を把握し、参画できる仕組みを構築します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|--|--------------|
| <p>誰もがわかりやすく、利用しやすいホームページの作成や広報紙の充実</p> | <p>ホームページについて、情報が散乱しているフォルダに関し集約ページを作成し整理を行い、市民の皆さまにとって重要度の高い大切なお知らせはトップページのパナーを利用することで、視覚的に捉えやすくした。広報紙については、特集・トピックス・定期コンテンツの三つの単元を、より見やすく分かりやすい紙面となるよう再構成し、市民の皆さまにとって重要な情報がよりの確に伝わるように、掲載紙面の大幅な見直しを行った。また各課から提出された原稿の中身についても精査を行い、分かりづらい言葉はなるべく伝わりやすい言葉に変換するなど、誰にでも伝わる文章表現となるように努めた。</p> | <p>A</p> |
| <p>地域コミュニティの活性化 …自治会加入率 【H30:65.5% → R6:増加】</p> | <p>市内8行政区へ自治振興補助金を交付し、地域の行事や自治会活動などの促進に寄与した。また、5月に行行政区長が一同に会する区長会総会を開催し、意見交換会を行うなどし各区の現状や課題を共有するとともに必要な議事等を決定した。 なお、自治会加入率については、全国的に減少傾向にあり、本市においても同様でわずかながら減少した。 (57.0%)</p> | <p>B</p> |
| <p>市民の主体的なまちづくり活動への支援</p> | <p>主体的にまちづくりを行っていく人材の発掘や育成を目的に、かけはし交流会やかけはし講座を開催し、市民活動団体間の交流と情報交換の場を提供した。また、向日市制施行50周年を記念し、市制の歩みを祝い、将来に向かって飛躍する機会とすることを目的として市民が実施する事業に対し、補助金を交付することができた。</p> | <p>A</p> |
| <p>市民活動活性化のための情報交換ネットワークの構築</p> | <p>市民と協働によるまちづくりを推進するため、かけはし掲示板を活用した情報発信や、登録団体の情報交換ネットワークとなる「かけはし交流会」を開催し、登録団体の情報発信が活発となるよう講座を企画した。</p> | <p>市民活動を</p> |

広報紙・ホームページなどについて、分

引き続き各種補の影響で自治会また、自治会加入率の

引き続き、市民的に活動する

市民活動を

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

施策分野1 市民協働の推進

施策2 市民交流の推進

基本方向

○友好交流を通じた「ふるさと向日市」の再発見につなげる事業を展開するとともに、市民が市民交流に意欲を持ち市民同士が自ら交流事業を行えるまちを目指します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|--------------------------|---|------|
| <p>幅広い分野における都市間交流の推進</p> | <p>事業を実施し、都市間交流を深めることができた。 相互交流宣言に基づく、京都市との交流事業の実施 ・竹結びフェスタ(京都市西京区) 参加者数:47,000人 ・ちびっこエコひろば(南区) 参加者数:約500人</p> | A |
| <p>国際交流を通じた異文化理解の推進</p> | <p>竹の径・かぐやのタベに、イスラエル、ドイツ、ミャンマーからの京都府名誉友好大使を招待し、本市の魅力の世界に向けてPRすることができた。 サラトガ市青少年委員会が実施した企画「MAKE IT TO MUKO！」(向日市及びサラトガ市の住民等のウォーキングの歩数を集めて向日市～サラトガ市間8,700kmの達成を目指す。)を通じて、サラトガ市との交流を深めた。</p> | A |

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

引き続き、都

引き続き、都

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

施策分野2 人権・平和・男女共同参画の推進

施策1 多様性を認め合う社会の実現

基本方向

○市民一人一人がお互いの人権を尊重し合い共に生きることができるよう、人権について、学び、考え、実践していくことにより、人権という普遍的文化の構築を目指して人権教育・啓発事業に取り組むとともに、世界平和都市宣言の理念の実現に向け、平和施策を推進します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---------------------------------|---|------|
| <p>「向日市人権教育・啓発推進計画」の推進</p> | <p>人権問題の解決に向けた取組として、8月の人権週間に合わせて実施する人権イベントにおいて、「部落差別解消推進法」、「ヘイトスピーチ解消法」、「障がい者差別解消法」などについて、周知・啓発を行った。 また、身元調査のために住民票を不正取得するなど、個人の権利侵害を防ぐため、住民票などを第三者に交付した場合は、その事実をお知らせする「事前登録型本人通知制度」の周知に努め、登録数の増加を図った。 登録者数 R3 1,341人 ⇒ R4 1,431人(R5.3月末現在)</p> | A |
| <p>京都府や近隣市町村と連携した人権教育・啓発の推進</p> | <p>「第2次向日市人権教育・啓発推進計画」に基づき、人権教育の推進を図るため、社会教育関係者をはじめ、誰もが人権について学ぶことができるよう、部落差別(同和問題)や女性差別、LGBTQに関する研修会を実施した。</p> | A |
| <p>京都府や近隣市町村と連携した人権教育・啓発の推進</p> | <p>法務局、京都府及び府内市町村、並びに乙訓人権擁護委員協議会等と連携を図りながら、人権フェスタや人権の花運動、情報誌の発行などを積極的に実施し、幅広く人権教育・啓発の推進を図られた。</p> | A |
| <p>平和行動計画に基づいた事業の展開</p> | <p>「平和と人権のつどい」において、映画「水上のフライト」を上映し、一人ひとりが人権について考える貴重な機会を提供するとともに、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展を同時に実施し、平和と人権について啓発をした。 市民の皆様から寄せられた折り鶴を広島市平和記念公園の「原爆の子の像」に奉納した。また、戦争の悲惨さや人権尊重、平和への思いを伝えるきっかけとするため、若年層を対象とした「平和親子バスツアー」を開催した。</p> | A |

引き続き、「第2次ふるさと向日市創生計画」の進捗状況を、引き続き、あらゆるところで、また、事前登録型本人通知制度の周知に努め、登録数の増加を図った。

「第2次向日市人権教育・啓発推進計画」に基づき、人権教育の推進を図るため、社会教育関係者をはじめ、誰もが人権について学ぶことができるよう、部落差別(同和問題)や女性差別、LGBTQに関する研修会を実施した。

関係機関などとの連携を図りながら、人権フェスタや人権の花運動、情報誌の発行などを積極的に実施し、幅広く人権教育・啓発の推進を図られた。

引き続き、「第2次ふるさと向日市創生計画」の進捗状況を、引き続き、あらゆるところで、また、事前登録型本人通知制度の周知に努め、登録数の増加を図った。

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

施策分野2 人権・平和・男女共同参画の推進

施策2 男女共同参画社会の実現

基本方向

○男女の人権が等しく尊重され、あらゆる場において性別にかかわらず誰もがいきいきと暮らし活躍することができる男女共同参画社会の実現を目指します。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|--|------|
| <p>女性活躍推進事業の充実</p> <p>…女性活躍センター団体等登録数</p> <p>【H30:21 → R6:50】</p> | <p>向日市女性活躍センターあすもあを拠点として、参加者同士が交流を図り、その個性や能力を十分に発揮し、自分らしい女性活躍が目指せる環境を創り出すことができた。</p> <p>また、今年度からの取り組みとして、スマホカメラ講座、チラシデザイン講座といった、子育て中で職を離れた方にも興味を持ってもらえるようなテーマを取り上げ女性応援セミナーを実施し、就労や社会復帰など社会と繋がる機会を提供することができた。</p> <p>さらに、京都ジョブパークやマザーズジョブカフェと連携し、働きたいと考える女性を支援する出張相談の実施や自分の心に向き合うセミナーを開催し、様々な女性活躍の場を広げることができた。</p> <p>R3:51 → R4:59(R5.3月末現在)</p> | S |
| <p>ワーク・ライフ・バランスの普及・推進</p> | <p>働き方の多様化が進む中、これまでの働き方に左右されず、自分にあった働き方を見つけるため、京都ジョブパークやマザーズジョブカフェと連携し、出張相談会やセミナーをあすもあで開催した。</p> <p>また、幼児がいる家庭の男性に焦点を向け、男性が子どもと一緒に参加して、家事・育児について学ぶ講座を行い、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を進めることができた。</p> | A |

個人や団体間のため、団体の躍り、向日市女性の更なる推

向日市女性アイ・バランス色々な世代の催すことに加を促す。

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和4年度 進捗状況等 一覧

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

施策分野3 行財政運営力の向上

施策1 健全で持続可能な行財政運営

基本方向

○将来に渡って安定した行政サービスを行えるよう、変化する社会情勢や多様な市民ニーズに対応できる効果的・効率的な行財政運営を進めます。

| 取組及び目標 | 令和4年度実績 | 進捗状況 |
|---|--|--------------------------------------|
| <p>市役所新庁舎の整備</p> | <p style="text-align: center; font-size: 2em; color: #800000;">令和2年度 完了</p> | |
| <p>公金納付の利便性向上 …市役所窓口でのクレジットカード・電子マネーによるキャッシュレス決済の実施【R6:完了】</p> | <p>キャッシュレス納付導入について検討し、課題を整理した。</p> <p>【検討状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①証明書発行手数料の窓口納付」複数の事業者が決済に必要な読取装置を販売しているので導入可能。 クレジットカードによる「②税・保険料の窓口納付」、「③税・保険料の継続払い」納付された税・保険料について、正確に消込作業(収入情報の記録)をするための仕組みが、近隣の収納代行事業者では構築されていない。 <p>なお、手数料や税・保険料のクレジットカードや電子マネーによるキャッシュレス納付及びクレジットカードによる税・保険料の窓口納付・継続納付については、一括で導入することが市民の皆様にとって分かりやすく、利便性の向上を一気に図ることができると考えている。</p> | <p style="text-align: center;">B</p> |
| | <p>事務の点検を行い経費の節減に努めるとともに、積極的な特定財源の確保及び交付税措置のある有利な地方債の借入れに努めた。</p> <p>健全化判断比率 R3 R2 R1 H30 (早期健全化基準) 実質赤字比率 — — — (12.95) 連結事業赤字比率 — — — (17.95)</p> | |

クレジットカード、引き続き課題解決が円滑に実施されるよう、引き続き

引き続き